

【案内図】



施設の所在地

川崎市高津区上作延1000

利用者番号

w9999

工事件名

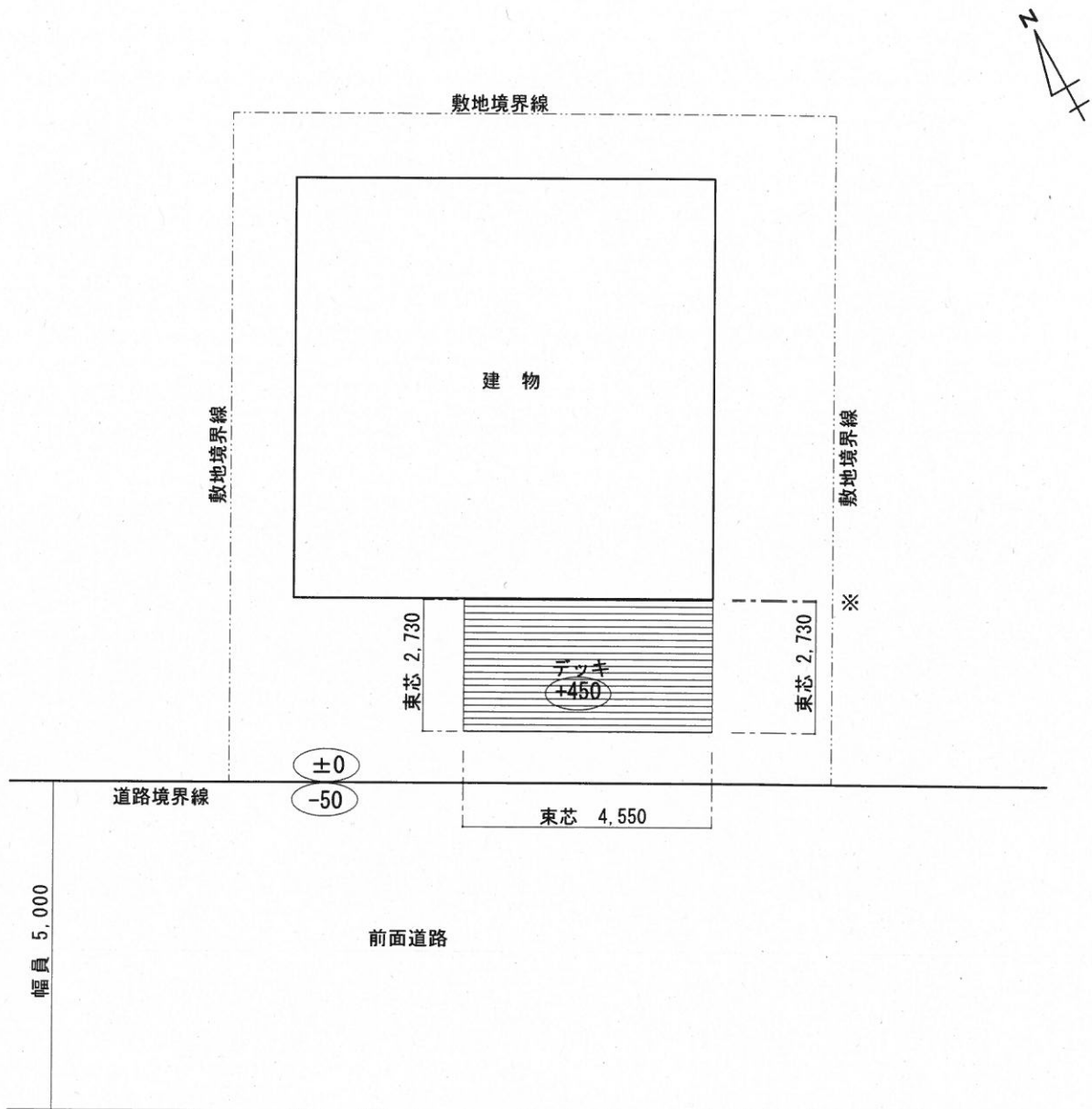
緑ヶ丘邸外構工事

事業者名

全国木材協同組合連合会



デッキ申請図面 参考図

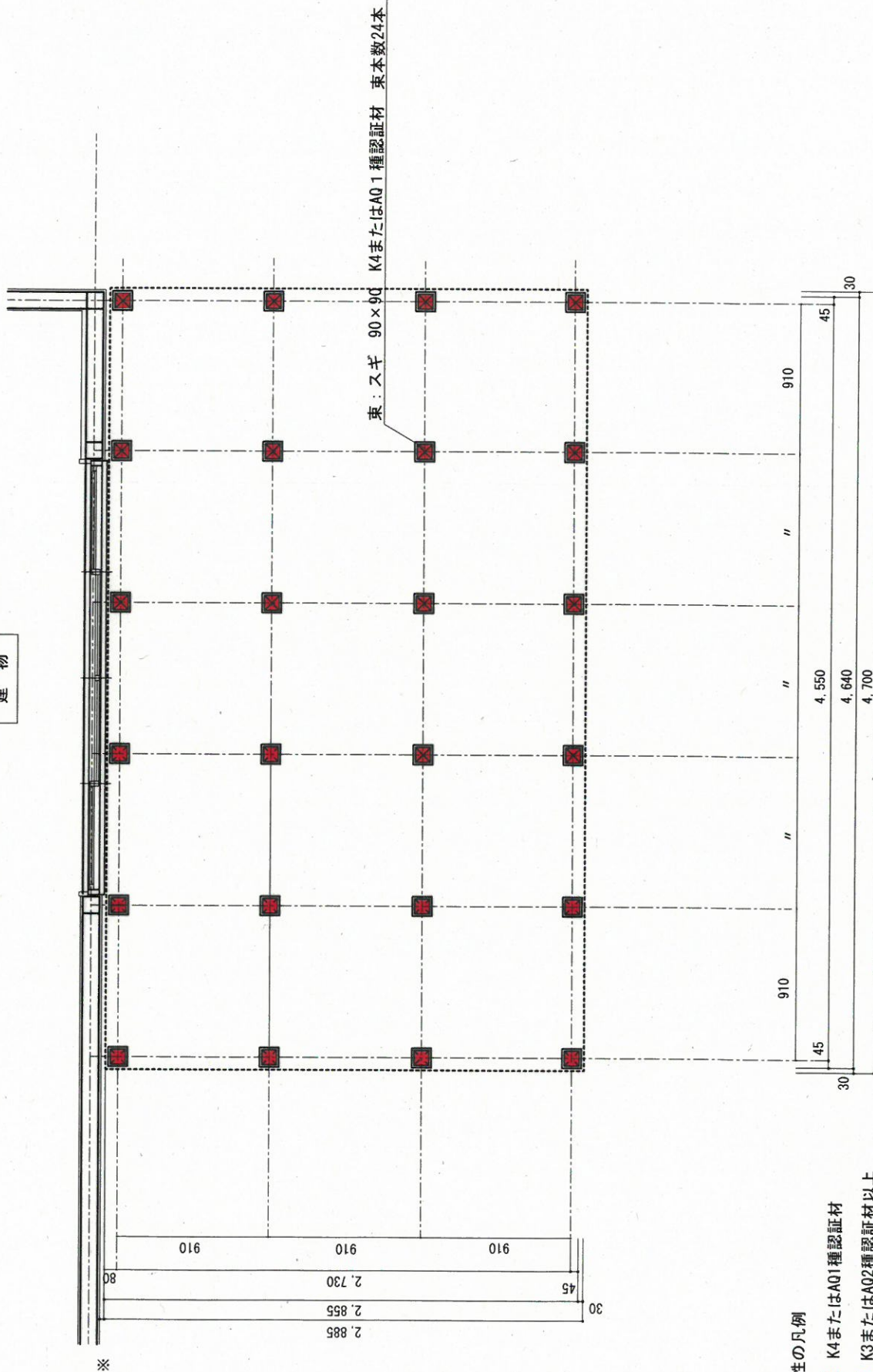


デッキ床面積  $A=4.55 \times 2.73=12.42\text{m}^2$   
 ※デッキ部分は建物と一体としないこと。

配置図 S=1/100 単位は mm

利用者番号	w1001	工事件名	〇〇様邸デッキ工事
-------	-------	------	-----------

建物



束: スギ 90×90 K4またはA01種認証材 束本数24本

耐久性の凡例

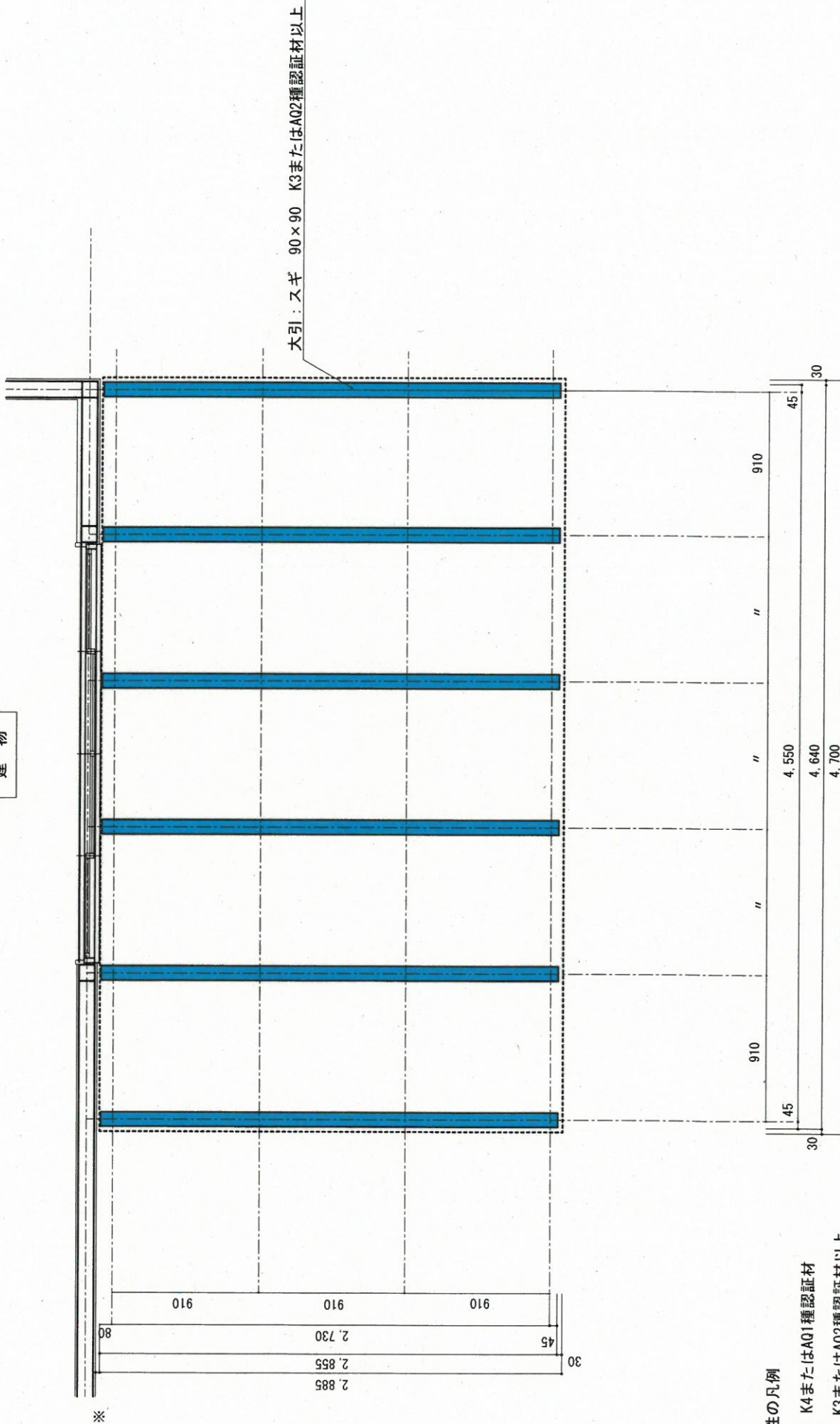
- K4またはA01種認証材
- K3またはA02種認証材以上
- 木材保護塗料 JASS18 M-307適合品 (K3またはA02種認証材以上も可)

注記: 交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。  
 ※デッキ部分は建物と一体としないこと。

平面図 (束伏図) S=1/50 単位は mm

		工事件名
		利用者番号

建物



耐久性の凡例

- K4またはA01種認証材
- K3またはA02種認証材以上
- 木材保護塗料 JASS18 M-307適合品  
(K3またはA02種認証材以上も可)

注記：交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。  
※デッキ部分は建物と一体としないこと。

平面図 (大引伏図) S=1/50 単位は mm

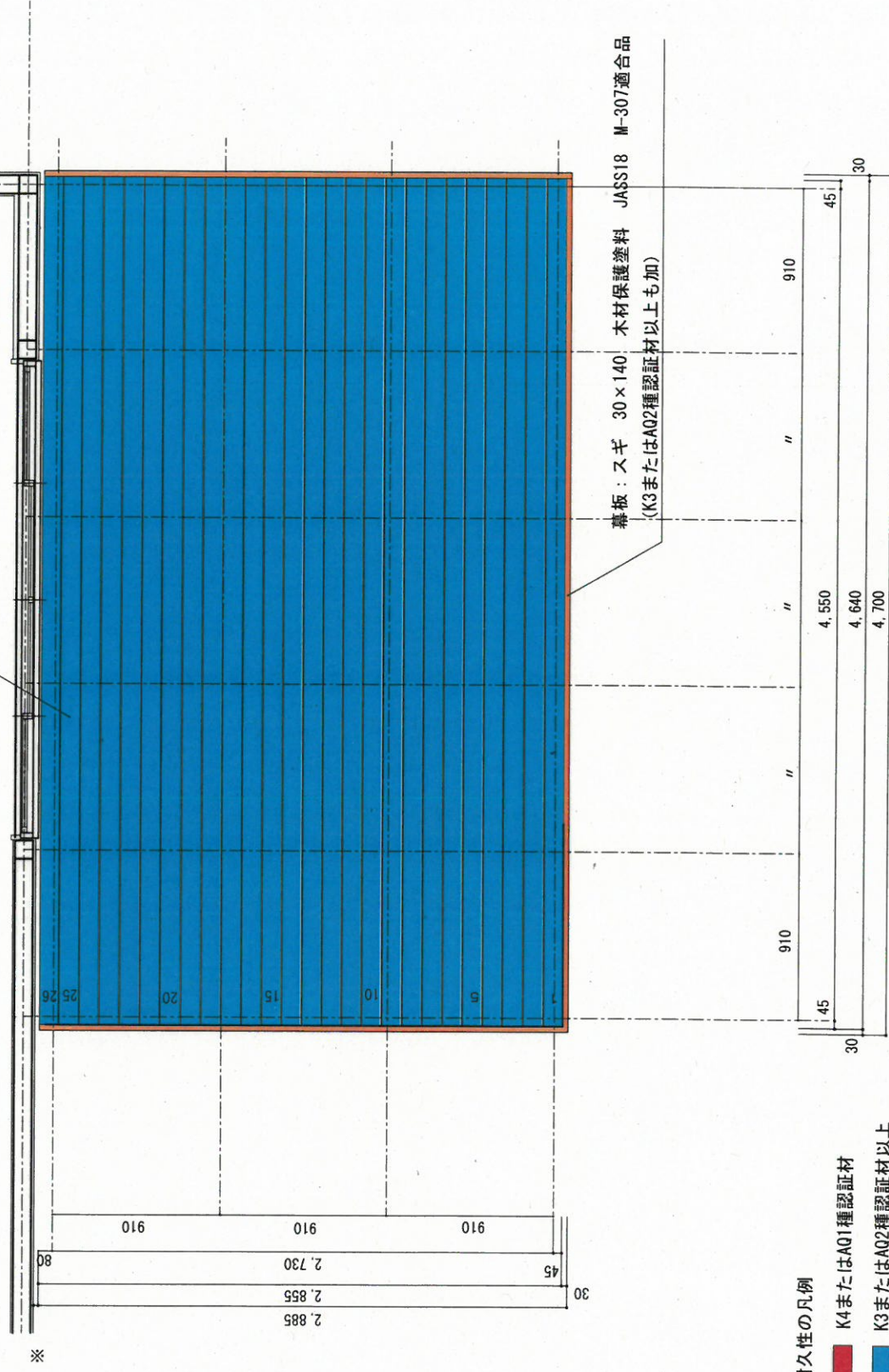
利用者番号

工事件名



建物

床板：スギ 40×105 K3またはAQ2種認定材以上



平面図 (床伏図) S=1/50 単位は mm

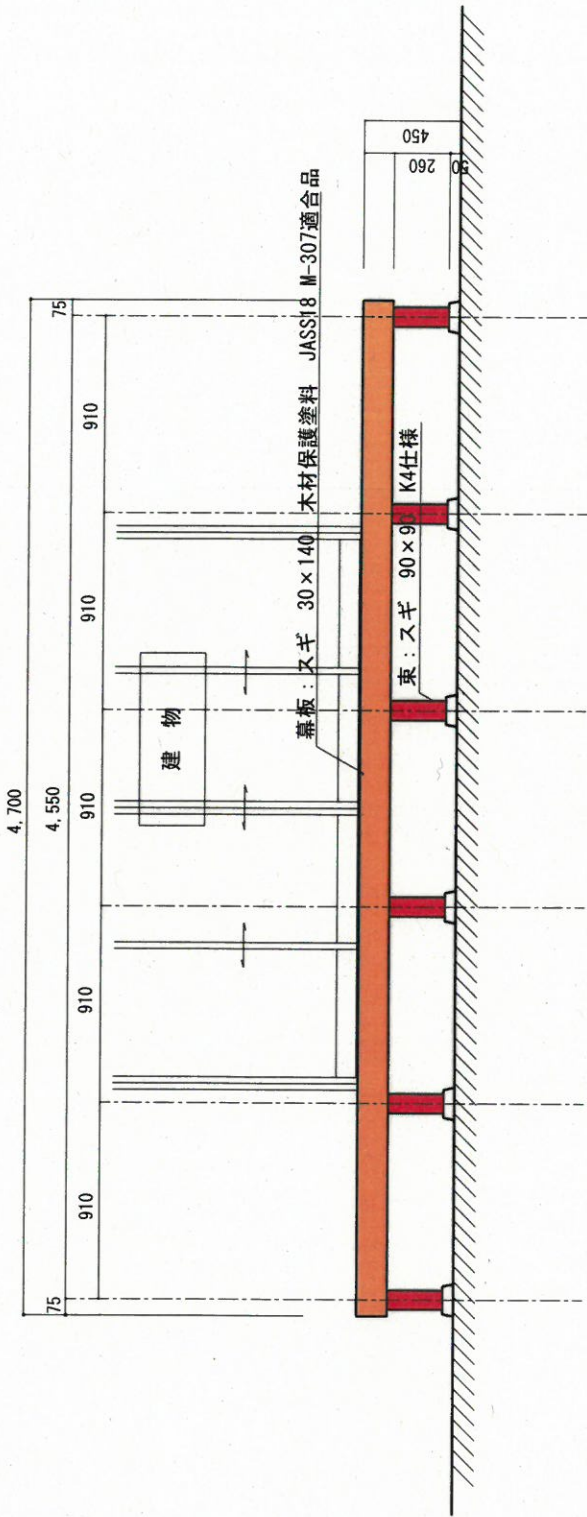
耐久性の凡例

- K4またはAQ1種認定材
- K3またはAQ2種認定材以上
- 木材保護塗料 JASS18 M-307適合品 (K3またはAQ2種認定材以上も可)

注記：交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。

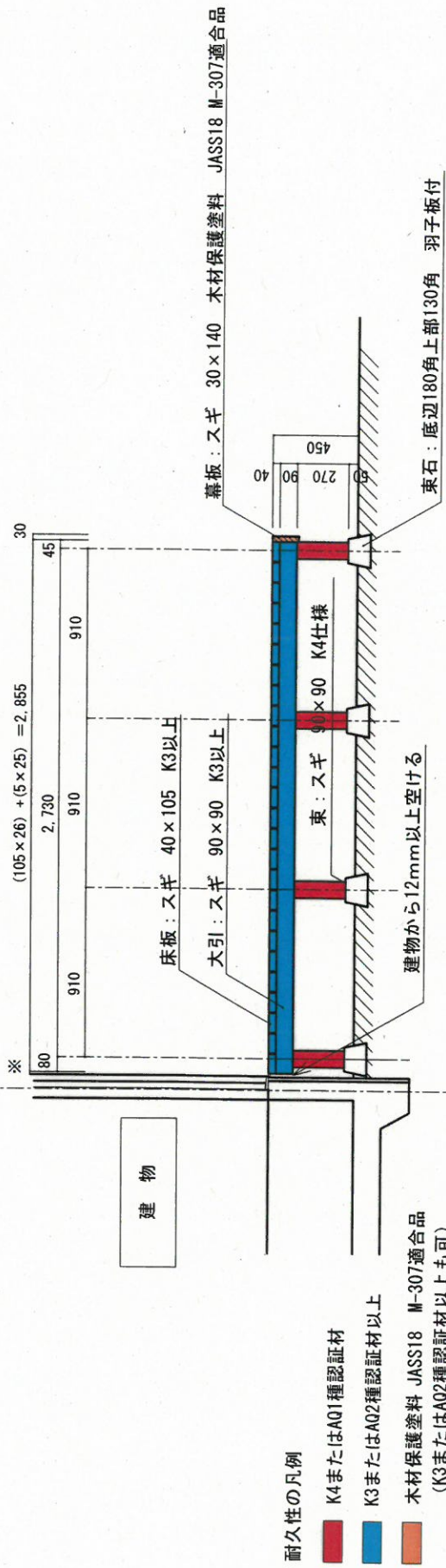
※デッキ部分は建物と一体としないこと。

利用者番号	工事件名	



立面図 S=1/50

長辺方向・短辺方向共に作図のこと



断面図 S=1/50

長辺方向・短辺方向共に作図のこと

耐久性の凡例

- K4またはA01種認証材
- K3またはA02種認証材以上
- 木材保護塗料 JASS18 M-307適合品 (K3またはA02種認証材以上も可)

注記: 交付申請時は耐久性処理を施した措置を記入する。  
※デッキ部分は建物と一体としないこと。

利用者番号	工事件名
-------	------



様式1号,6号別添

木材利用量計算書・横書き (デッキ用)

利用者番号: w1001

工事件名: デッキ申請図面 参考例

(当該外構施設に実際に使用する木材の量(設計寸法)により記入してください。)

番号	部位*1	樹種名*2	形状*3	寸法 (mm)		長さ	1本(枚)当たりの材積*4 (m <sup>3</sup> /本or枚)	数量	使用材積*5 (m <sup>3</sup> )	耐久性区分*6	備考
				断面	長さ						
1	束	スギ	角・平	90 x 90	270	0.0021	24	0.0504	K4		
2	大引	スギ	角・平	90 x 90	2,855	0.0231	6	0.1386	K3		
3	床板	スギ	角・平	40 x 105	4,640	0.0194	26	0.5044	K3		
4	幕板	スギ	角・平	30 x 140	2,885	0.0121	2	0.0242	木材保護塗料		
5	幕板	スギ	角・平	30 x 140	4,700	0.0197	1	0.0197	木材保護塗料		
6						0.0000		0.0000			
7						0.0000		0.0000			
8						0.0000		0.0000			
9						0.0000		0.0000			
10						0.0000		0.0000			
11						0.0000		0.0000			
12						0.0000		0.0000			
13						0.0000		0.0000			
14						0.0000		0.0000			
15						0.0000		0.0000			
合計						0.0000		0.7373			

耐久性区分は例として入力しています。

(凡例)

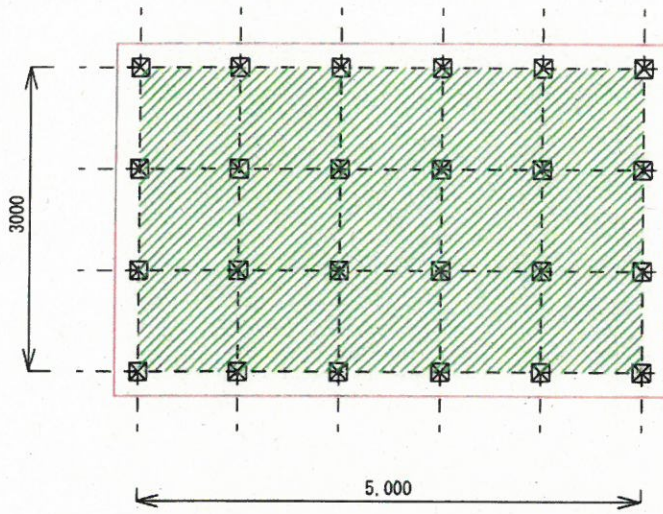
プルダウンを選択するセル      東芯範囲の床面積 = 12.42 m<sup>2</sup>      使用材積合計 = 0.7373 m<sup>3</sup>      ≥ 0.40m<sup>3</sup> OK  
 自動計算されるセル      使用材積合計 / 東芯範囲の床面積 = 0.0593 m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>      ≥ 0.04m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup> OK

- 注) \*1: 当該木材を使用する部材の名称を記入してください。記載例: (塀の場合)土台、支柱、胴縁、横棧、縦板、横板、笠木、笠木下地など  
 \*2: プルダウンのリストから選択してください。その他産材、外国産材を選択した場合は、備考欄に樹種名を「樹種: OO」と記載してください。  
 \*3: プルダウンのリストから選択してください。形状: 「角・平」は柱・板材のとき、「二つ割」は丸太二つ割のとき、「丸太」は丸太のとき を選択してください。  
 \*4: 自動計算      \*5: 自動計算  
 \*6: プルダウンのリストから選択してください。その他を選択した場合は、備考欄に具体的な措置内容を記載してください。  
 交付申請時には耐久性処理をした記号を記入してください。

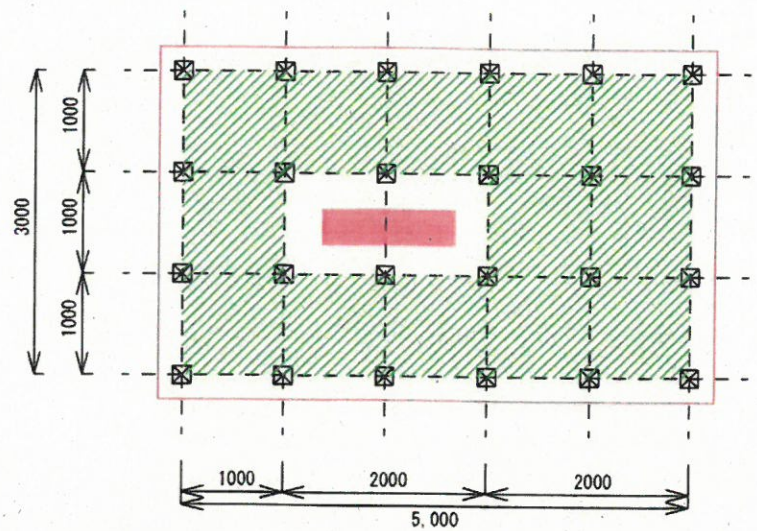
デッキ-6



※ デッキの床面積について

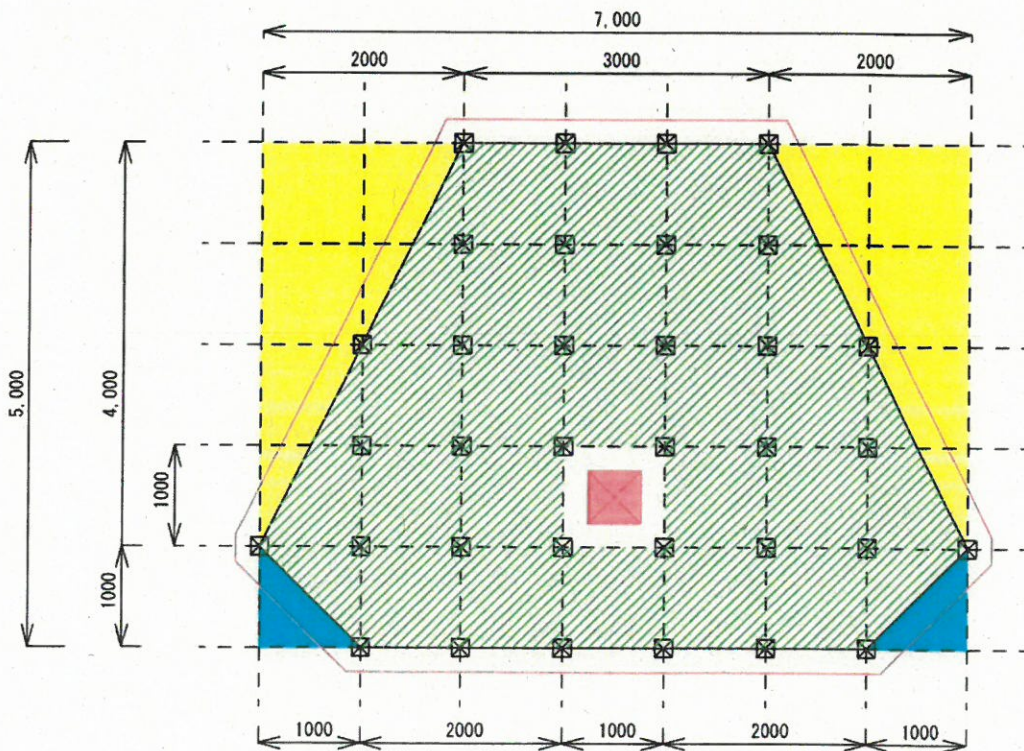


床面積  $5000 \times 3000 = 15\text{m}^2$



床面積  $5000 \times 3000 - (2000 \times 1000) = 13\text{m}^2$

開口部



床面積  $7000 \times 5000 - \{(2000 \times 4000) \times 1/2\} \times 2 + \{(1000 \times 1000) \times 1/2\} \times 2 - \{1000 \times 1000\} = 25\text{m}^2$

開口部

※ 東で閉じた範囲のみです。 ( ⊠ は東を示します )